

<第6章 調査票〔単純集計結果〕>

最初に、あなたご自身のことについてお尋ねします。

以下のQ. 1 から Q. 10 までは、本調査でいただいた回答が性別によってどう違うか、年代別にはどういう違いが見られるか、などといった分析をするうえで必要な質問です。ご協力をお願いします。

F 1 性別（１つだけ○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	男性	700	45.6
2	女性	827	53.8
3	その他	3	0.2
	無回答	6	0.4

F 2 年代（１つだけ○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	10 歳代	26	1.7
2	20 歳代	123	8.0
3	30 歳代	229	14.9
4	40 歳代	331	21.5
5	50 歳代	395	25.7
6	60 歳代	324	21.1
7	70 歳以上	107	7.0
	無回答	1	0.1

F 3 職業（従事する時間が長いものに１つだけ○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	農林業	65	4.2
2	漁業	8	0.5
3	商工サービス業自営	58	3.8
4	事務職	259	16.9
5	技術職	283	18.4
6	労務職	201	13.1
7	管理職	87	5.7
8	自由業	49	3.2
9	主婦・主夫	125	8.1
10	学生	53	3.5
11	無職	156	10.2
12	その他	178	11.6
	無回答	14	0.9

F 4 あなたの属性（１つだけ○印）

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	世帯主	757	49.3
2	世帯主ではない（世帯員）	772	50.3
	無回答	7	0.5

F 5 婚姻状況（１つだけ○印）

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	未婚	420	27.3
2	既婚	958	62.4
3	その他（離別、死別を含む）	153	10.0
	無回答	5	0.3

**F 6 子どもの状況（同居・別居に関わらずお答えください。）
（当てはまるものすべてに○印）**

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	就学前の子どもがいる	178	11.6
2	小・中学生の子どもがいる	249	16.2
3	高校生の子がいる	127	8.3
4	大学生、専門学校生等の子どもがいる	156	10.2
5	子どもは成人している（「3～4」を除く）	555	36.1
6	その他	23	1.5
7	子どもはいない	519	33.8
	無回答	6	0.4

F 7 世帯の年間収入（税込み）（１つだけ○印）

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	100 万円未満	102	6.6
2	100～200 万円未満	145	9.4
3	200～300 万円未満	240	15.6
4	300～400 万円未満	195	12.7
5	400～600 万円未満	320	20.8
6	600～800 万円未満	203	13.2
7	800～1,000 万円未満	160	10.4
8	1,000 万円以上	136	8.9
	無回答	35	2.3

F 8 お住まいの状況（１つだけ○印）

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	持家	1,216	79.2
2	借家	303	19.7
	無回答	17	1.1

F 9 お住まいの場所（広域市町村圏）（１つだけ○印）

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	高知市	739	48.1
2	安芸広域圏	104	6.8
3	南国・香美広域圏	230	15.0
4	嶺北広域圏	24	1.6
5	仁淀川広域圏	98	6.4
6	高吾北広域圏	48	3.1
7	高幡広域圏	119	7.7
8	幡多広域圏	171	11.1
	無回答	3	0.2

F 10 お住まいの地域（沿岸部・非沿岸部）（１つだけ○印）

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	沿岸部	368	24.0
2	非沿岸部	1,160	75.5
	無回答	8	0.5

※ お住まいの地域が沿岸部かどうかの判断に迷う場合は、海（海岸、岸壁、港、湾、河口付近）から直線距離で約5 km（または車で約10分）を目安にしてください。

1. 県の基本政策について

高知県では、「いきいきと仕事ができる高知県」、「いきいきと生活ができる高知県」、「安全・安心な高知県」を目指すべき3つの高知県像に掲げ、県政の最重要課題である人口減少問題を食い止め、持続可能な人口構造への転換を図るべく、昨年3月に人口減少対策のマスタープランとなる「高知県元気な未来創造戦略」を策定し、取り組みを進めています。

1 いきいきと仕事ができる高知

● 経済の活性化 ～第5期高知県産業振興計画の取り組み～

(農業、林業、水産業、商工業、観光の各分野の振興や、デジタル化・グリーン化・グローバル化の推進、外商活動の全国展開、担い手の育成・確保など産業振興計画の取り組み)

2 いきいきと生活ができる高知

● 日本一の健康長寿県づくり ～第5期日本一の健康長寿県構想の取り組み～

(健康寿命の延伸に向けた意識醸成と行動変容の促進、地域で支え合う医療・福祉・介護サービス提供体制の確立とネットワークの強化、こどもまんなか社会の実現、「高知型地域共生社会」の推進)

● 教育の充実 ～第3期教育等の振興に関する施策の大綱の取り組み～

(確かな学力の育成と自己の将来とのつながりを見通した学びの展開、健やかな体の育成と基本的な生活習慣の定着、豊かな心の育成と多様性・包摂性を尊重する教育の推進など)

● 中山間対策の充実・強化 ～高知県中山間地域再興ビジョンの取り組み～

(集落活動センターの普及・拡大、担い手の確保・育成、生活用品・移動手段の確保、鳥獣被害対策など)

● 少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大

(出会い・結婚・妊娠・出産、子育てなどのライフステージの各段階に応じた切れ目のない対策、就職や起業に向けた支援など)

● 文化芸術とスポーツの振興

(文化芸術を鑑賞できる機会の充実・発表する機会の拡充、文化芸術活動を支える人材の育成、スポーツ参加の拡大、競技力の向上、スポーツを通じた活力ある県づくりなど)

3 安全・安心な高知

● 南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化

～第6期南海トラフ地震対策行動計画の取り組み～

(地震発生直後の命を守る対策、助かった命をつなぐための応急期の対策、早期の復旧・復興に向けた生活を立ち上げる対策など)

● インフラの充実と有効活用

(県民の安全・安心につながる道路、河川、港湾などの整備、公共交通機関の維持確保など)

問１ 「経済の活性化」について、第５期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（３つまで○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	農林水産業の生産地の強化	547	35.6
2	加工食品や機械などのものづくり産業の振興	147	9.6
3	観光の振興	426	27.7
4	新たな価値を生み出すための「イノベーション」の推進	149	9.7
5	県産品等の地産外商の促進（外商活動の全国展開、グローバル化に対応した輸出のさらなる拡大）	241	15.7
6	エネルギーや食料品、木材・木製品などの「地消地産」※ ¹ の推進	308	20.1
7	県外からの移住の促進	300	19.5
8	起業や新たな事業展開を志す方への支援	212	13.8
9	産業の担い手の育成・確保	544	35.4
10	各産業分野におけるデジタル化の促進	110	7.2
11	S D G s（持続可能な開発目標）の達成に向けた事業活動の促進	93	6.1
12	防災関連産業、I T・コンテンツ関連産業、グリーン化関連産業など新たな産業の創出	228	14.8
13	県内事業者の経営基盤の強化（事業戦略の策定・実行への支援、金融支援）	296	19.3
14	企業の誘致	330	21.5
15	地域の商業機能の維持・活性化	294	19.1
16	その他	42	2.7
	無回答	15	1.0

※１ 県内での増産が見込める品目の消費を県外産品から県内産品に置き換えることを通じて、生産の強化を図る取り組み

※２ 脱炭素化につながる新たな製品、サービスの開発等の支援や、自然・体験型の観光等を推進。

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第5期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	生涯にわたる健康的な生活習慣の定着	448	29.2
2	がん対策や脳血管疾患・心臓病・糖尿病などの血管病対策の推進	273	17.8
3	在宅医療・介護の推進	367	23.9
4	高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり	470	30.6
5	高知型地域共生社会の実現に向けた市町村の包括的な支援体制の整備の推進	250	16.3
6	地域住民やボランティア、企業、NPO など多様な主体の参画による子育て支援と見守り活動など人と人とのつながりの再生に向けたネットワークづくり	220	14.3
7	障害のある人が地域で安心して暮らしていくことができる環境づくり	227	14.8
8	救急医療体制の強化	374	24.3
9	医師等医療従事者の地域偏在の是正	294	19.1
10	介護などのサービス提供を担う人材の安定確保	502	32.7
11	妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援	394	25.7
12	厳しい環境にある子どもたちへの支援	295	19.2
13	デジタル化の推進（オンライン診療の推進や ICT を活用した高齢者の見守り体制の整備など）	152	9.9
14	その他	35	2.3
	無回答	14	0.9

※1 介護予防や生活支援サービスの充実・強化など、高齢者がいつまでも元気に安心して日々を暮らせる対策。

※2 断らない相談窓口や分野を超えた多機関協働の支援会議の設置、孤立を防ぐ地域づくりなどを一体的に整備する施策。

問3 「教育の充実」について、第3期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（3つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	学力向上に向けた学校の組織力の強化	544	35.4
2	道徳教育の推進	428	27.9
3	運動能力の向上、運動習慣の確立	257	16.7
4	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進	455	29.6
5	発達障害など特別な支援を必要とする子どもへの指導・支援の充実	271	17.6
6	貧困の世代間連鎖を教育によって断ち切るための支援の充実	393	25.6
7	いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実	587	38.2
8	パソコンやタブレット等を活用した教育の推進	203	13.2
9	地域の方々との連携・協働による学習やスポーツ活動などの推進	221	14.4
10	就学前の教育・保育の充実	169	11.0
11	生涯にわたって学び続けられる環境づくりの推進	328	21.4
12	学校における働き方改革の推進	331	21.5
13	その他	50	3.3
	無回答	13	0.8

※1 教員同士がチームを組んで主体的に学び合うことにより組織的に授業力の向上などを図る。

※2 家庭の経済状況と子どもの学力等には相関関係があり、貧困の世代間連鎖が危惧される状況であることから、保護者の子育て力の向上や放課後等における学習の場の充実などを図る。

※3 教員が子どもと向き合う時間を確保し、限られた時間の中で最大の教育効果を発揮できるよう、市町村教育委員会や学校等と連携し、業務の効率化・削減や外部人材の活用などを図る。

問4 「中山間対策の充実・強化」について、高知県中山間地域再興ビジョンに基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	食料品や日用品などの確保	362	23.6
2	地域での医療・介護の確保	639	41.6
3	買い物や通院のための移動手段の確保	738	48.0
4	地域で収入を得ることができる産業づくり	526	34.2
5	集落の維持・再生に向けた地域の支え合いの仕組みづくり	208	13.5
6	移住促進等による地域活動などの担い手の確保	162	10.5
7	地域での教育の拠点となる高等学校の確保	52	3.4
8	鳥獣被害への対策	111	7.2
9	スマートフォンやパソコン等で高速通信が可能となる情報基盤の整備	165	10.7
10	その他	15	1.0
	無回答	10	0.7

問5 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	地域や職場など社会全体で結婚や子育てを応援する機運の醸成	250	16.3
2	出会いや結婚への支援を希望する独身者への出会いの機会の創出	243	15.8
3	安心して妊娠・出産できる環境の整備	478	31.1
4	子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減	666	43.4
5	子どもの預け先の確保など子育て支援サービスの充実	345	22.5
6	家事・育児の分担など家庭における男女共同参画の推進	85	5.5
7	いったん子育て等に専念しても、希望すれば再就職できるための支援	218	14.2
8	仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり	413	26.9
9	長時間労働の是正	134	8.7
10	場所や時間に制約されない仕事につながる専門技術等のスキルアップ支援（デジタルスキル等）	82	5.3
11	その他	31	2.0
	無回答	11	0.7

問6 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実	572	37.2
2	文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実	758	49.3
3	文化芸術活動を発表する機会の拡充	132	8.6
4	高知固有の文化の継承や活用	499	32.5
5	文化芸術活動を支える人材の育成	363	23.6
6	文化芸術に関するイベント等の情報発信	346	22.5
7	その他	29	1.9
	無回答	28	1.8

問7 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。（2つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり	807	52.5
2	選手や指導者の育成による競技力の向上	538	35.0
3	スポーツを通じた交流人口の拡大	446	29.0
4	スポーツ施設・設備の充実	815	53.1
5	その他	48	3.1
	無回答	27	1.8

問 8 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第 6 期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。
(3 つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	住宅の耐震化の促進	369	24.0
2	津波からの避難場所や避難路の整備	417	27.1
3	災害関連死の防止に向けた避難所の確保や、環境の整備、運営体制の充実	348	22.7
4	支援物資が被災者に確実に届く体制づくり	650	42.3
5	県外からの支援を円滑に受け入れる態勢の強化	223	14.5
6	医療救護体制の推進	394	25.7
7	防災教育の強化	169	11.0
8	高齢者や障害者などの要配慮者の方々を地域で支え合う仕組みづくり	209	13.6
9	地震火災・津波火災対策の推進	93	6.1
10	津波や浸水による被害を防ぐ防潮堤や強靱な道路ネットワークの構築、上下水道施設の耐震化などの災害に強いインフラ整備	418	27.2
11	南海トラフ地震臨時情報※が発表された場合に備えた対策の推進	142	9.2
12	自主防災組織など人のつながりの強化	141	9.2
13	発災後の応急対策活動や住民生活に必要な燃料の確保対策	194	12.6
14	住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策	431	28.1
15	デジタル技術の活用による防災・災害対応業務の効率化の推進	78	5.1
16	その他	33	2.1
	無回答	12	0.8

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報。

問 9 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2 つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備	317	20.6
2	日常生活を支える国道や県道等の整備	566	36.8
3	台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進	396	25.8
4	南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備	392	25.5
5	既存インフラの維持管理や老朽化対策	528	34.4
6	公共交通機関の維持確保	391	25.5
7	高速道路や空港、港湾等を活用した人流・物流対策	150	9.8
8	新幹線の実現や空港の国際化	174	11.3
9	その他	14	0.9
	無回答	21	1.4

改めて、県の基本政策についてお伺いします。

問 10 県が行っている次の１～８の政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。（２つまで○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	経済の活性化	902	58.7
2	日本一の健康長寿県づくり	83	5.4
3	教育の充実	274	17.8
4	中山間対策の充実・強化	244	15.9
5	少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大	477	31.1
6	文化芸術とスポーツの振興	64	4.2
7	南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化	584	38.0
8	インフラの充実と有効活用	252	16.4
	無回答	16	1.0

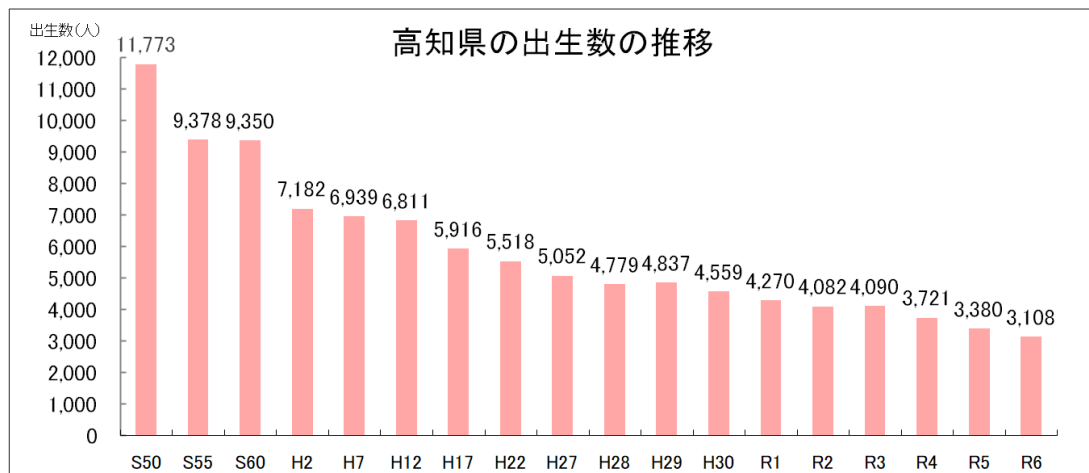
2. 県の人口減少対策について

本県の人口は、昭和 60 年の約 84 万人以降年々減少し、令和 7 年 4 月には約 64.8 万人となり、人口減少の流れに歯止めがかからない状況です。

若年人口（34 歳以下）は、昭和 50 年の約 39.9 万人（総人口の 49.3%）以降年々減少し、令和 7 年 4 月には半分以下となる約 16.7 万人（総人口の 25.7%）まで減少しています。

こうした人口減少、とりわけ若年人口の減少の要因は、出生数の減少と進学や就職に伴い若い世代が県外へ転居していることにあります。

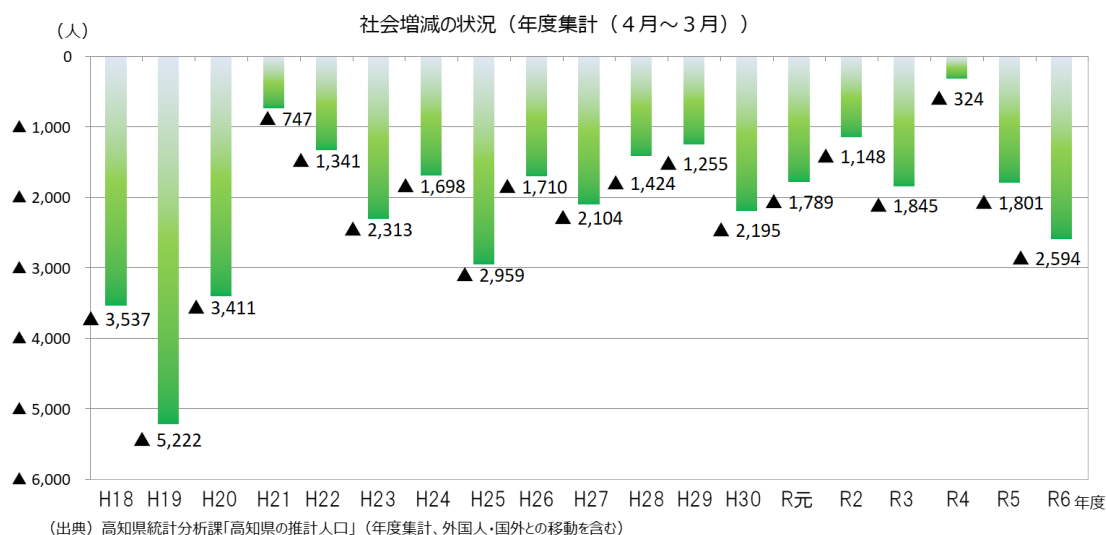
出生数は、昭和 50 年には 11,773 人でしたが、令和 6 年では 3,108 人となっており約 50 年間で 3 分の 1 以下となっています。



県外との間の人口移動については、「高知県から県外へ転居した人数」が「県外から高知県に転居した人数」を上回る社会減の状態が続いており、令和 6 年度は 2,594 人の社会減となっています。

これを年代別に見ると、15 歳～29 歳までの社会減が全体の 7 割を占めています。

また、男女別に見ると、男性より女性の社会減が多い状況が続いています。



将来の世代に本県の産業や文化を引き継いでいくためには、若者や女性に選ばれる高知県にするとともに、出生数の増加を図り、人口構造を若返らせていくことが必要です。

そのため、昨年 3 月に策定した「高知県元気な未来創造戦略」に基づき、「仕事の創出による若者の増加」「婚姻数の増加」「出生数の増加」の 3 つの観点から、施策を強化しながら全力で取り組みを進めています。

県民の皆さまには、県の人口減少の克服に向けた様々な取り組みへのご参画、ご協力をお願いします。

問 12 今後、本県の少子高齢化や人口減少が進んだ場合、どのようなことが心配ですか。

(3つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	医療・福祉施設がなくなり、十分な医療・福祉サービスが受けられなくなる事	719	46.8
2	医療保険や年金など社会保障の維持が困難になる事	718	46.7
3	保育園の閉園等により、子育て環境が悪化すること	243	15.8
4	学校の統廃合、学級数の減少等により、教育環境が悪化すること	318	20.7
5	公共交通の廃止等により、交通の便が悪くなる事	396	25.8
6	道路や水道等のインフラが維持できなくなる事	323	21.0
7	水道料等の公共料金が高くなる事	184	12.0
8	地域の商店の閉店により買い物が不便になる事	185	12.0
9	担い手不足により地域の産業が衰退すること	588	38.3
10	集落単位で実施してきた、草刈りなどの共同作業が難しくなる事	68	4.4
11	地域の文化・まつり・民俗芸能などの継続が難しくなる事	100	6.5
12	地域に活気がなくなること	296	19.3
13	災害時や緊急時に周囲からの手助けが得られなくなる事	132	8.6
14	その他	19	1.2
15	特に心配していることはない	19	1.2
	無回答	5	0.3

問 13 高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のために特に何が重要だと思いますか。(3つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	若者の所得の向上	994	64.7
2	キャリアアップや職場での役割分担における男女平等	148	9.6
3	ワークライフバランスの充実に向けた企業等の働き方改革	365	23.8
4	若者に人気のある業種（IT系等）の企業の増加	369	24.0
5	起業の促進	224	14.6
6	県内就職の促進に向けた情報発信やマッチングの強化	376	24.5
7	学校教育等での郷土愛の醸成	69	4.5
8	転職にともなう県外転出の抑制（県内での転職先に関する情報発信など）	176	11.5
9	本県に移住を希望する方への支援の充実	313	20.4
10	高知県で暮らすことの魅力を伝える情報発信	310	20.2
11	外国人材の活躍推進	41	2.7
12	子育てしやすい環境	622	40.5
13	社会全体の「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意識の解消	98	6.4
14	その他	69	4.5
	無回答	13	0.8

問 14 「婚姻数の増加」「出生数の増加」のために特に、何が重要だと思いますか。

(3つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	若者の所得の向上	914	59.5
2	キャリアアップや職場での役割分担における男女平等	114	7.4
3	ワークライフバランスの充実に向けた企業等の働き方改革	337	21.9
4	出会いや結婚を希望する独身者への出会いの機会の増加(複数 対複数のイベント)	339	22.1
5	サポーターなどによる婚活に関する支援(一対一のマッチン グ)	121	7.9
6	結婚時の支援金等の結婚に関する経済的な支援	318	20.7
7	安心して妊娠・出産できる環境	771	50.2
8	子育てに関する支援やサービスの充実(経済的な支援を含む)	655	42.6
9	社会全体の「男性は仕事、女性は家庭」という性別役割分担意 識の解消	148	9.6
10	企業等における男性育休の取得の促進や休暇制度の充実	181	11.8
11	子どもを持つことに対するポジティブな情報の発信	210	13.7
12	その他	52	3.4
	無回答	22	1.4

【性別役割分担意識について】

県では、人口減少問題への対応として、男女が分担して家事育児を行う生活スタイルである「共働き・共育て」を推進しています。「男性は仕事、女性は家庭」といった昔ながらの考え方を見直し、性別にとらわれず、誰もが希望に応じて家庭でも仕事でも力を発揮できる社会を実現するためには、地域や職場における意識の見直しが必要です。

問 15 あなたの職場において、男女の地位(意思決定への影響力や待遇など)は平等になっていると思いますか。

あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。(1つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	男性の方が非常に優遇されている	83	5.4
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	405	26.4
3	平等	540	35.2
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	106	6.9
5	女性の方が非常に優遇されている	20	1.3
6	わからない	325	21.2
	無回答	57	3.7

問 16 あなたの家庭生活において、男女の地位（意思決定への影響力や待遇など）は平等になっていると思いますか。

あなたの気持ちに最も近いものを選んでください。（１つだけ○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	男性の方が非常に優遇されている	87	5.7
2	どちらかといえば男性の方が優遇されている	369	24.0
3	平等	703	45.8
4	どちらかといえば女性の方が優遇されている	117	7.6
5	女性の方が非常に優遇されている	40	2.6
6	わからない	192	12.5
	無回答	28	1.8

3. 南海トラフ地震対策について

高知県では「南海トラフ地震対策行動計画」を策定し、ハード・ソフトの両面から様々な対策を進めています。被害を軽減するためには、県民の皆さま一人ひとりの備えとして、揺れがおさまったらすぐに避難する意識や、日頃から車の燃料を多めに保つ行動などの「自助」の取り組みに加え、自主防災組織の活動などの地域で支え合う「共助」の取り組みが重要です。

県民の皆さまのご協力のもと、「自助」、「共助」、「公助」が一体となった取り組みをしっかりと進めてまいります。

問 17 南海トラフ地震が発生したとき、高知県内では最大で約 42,000 人の方が亡くなり、そのうち約 36,000 人の方が津波によって亡くなると想定されています。＊¹

あなたのお宅は津波で浸水が予測される地域ですか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	津波で浸水が予測される地域である	532	34.6
2	津波で浸水が予測される地域ではない	877	57.1
3	わからない＊ ²	117	7.6
	無回答	10	0.7

※¹ 想定死者数は、「【高知県版】南海トラフ巨大地震による被害想定（平成25年5月15日公表）」に基づくものです。令和7年3月に国が公表した新たな被害想定を踏まえ、県版の精緻な被害想定を今年度中に公表予定です。

※² 津波の浸水予測（浸水の深さ、到達時間など）は、市町村のハザードマップで確認することができます。

また、高知県のホームページ（高知県防災マップ）でもご確認いただけます。

（右の二次元バーコードから住所を入力して検索することもできます。）

【高知県防災マップ】



副問 1 （問 17 で「1」を選んだ方のみお答えください。）

南海トラフ地震が発生したとき、高知県では、最も早いところで地震の揺れ始めから3分程度で、津波が海岸線に到達すると予測されています。

あなたがご自宅にいるときに、今まで経験したことがないような大きな揺れに襲われ、その揺れが1分以上続いたとします。あなたはいつ避難しますか。（1つだけ○印）

（回答者数 532 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	揺れがおさまった後、すぐに	368	69.2
2	津波警報が出たら	73	13.7
3	市町村から避難の呼びかけがあったら	19	3.6
4	周りの人が避難したら	4	0.8
5	家族が避難したら	7	1.3
6	自宅の浸水予測が 30cm 未満であるため、状況を判断してから	17	3.2
7	マンション等の高層階に住んでいるため避難しない	32	6.0
8	避難しない	11	2.1
	無回答	1	0.2

副問 2 (問 17 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたのご自宅まで、津波が到達する時間や浸水する深さをどのように知りましたか。
(1 つだけ○印)

※津波は 30 cm の深さで避難できなくなり、1 m になると命を落とすと言われています

(回答者数 532 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	地域の津波避難計画※ ¹ で知った	95	17.9
2	市町村のハザードマップ※ ² で知った	264	49.6
3	県のホームページ(高知県防災マップなど)で知った	62	11.7
4	新聞で知った	16	3.0
5	知らない	76	14.3
	無回答	19	3.6

※1 地域の津波避難計画とは、お住まいの地域の津波浸水予測や避難経路、避難場所などを明らかにし、いざというときに安全に避難するために市町村が作成するものです。

※2 ハザードマップとは、津波浸水予測や避難経路、避難場所などの情報を地図上に示したものです。

副問 3 (問 17 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたのご自宅がある地域は、地震が発生してから何分で津波が到達すると予測されていますか。津波ハザードマップで示されている津波の到達時間をお答えください。
(1 つだけ○印)

(回答者数 532 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	0 分から 5 分	46	8.6
2	5 分から 10 分	68	12.8
3	10 分から 20 分	80	15.0
4	20 分から 30 分	61	11.5
5	30 分から 40 分	34	6.4
6	40 分から 60 分	27	5.1
7	60 分以上	37	7.0
8	分からない	122	22.9
	無回答	57	10.7

問 18 あなたのご自宅では、固定が必要な家具や家電などを固定していますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	固定している	319	20.8
2	寝室だけは固定している	132	8.6
3	固定が必要な家具や家電などを居室※内に置いていない	193	12.6
4	固定が必要な家具や家電などがあるが固定していない	871	56.7
	無回答	21	1.4

※ 居室：居間、寝室、台所、子ども部屋など

<家具や家電などの固定について>

強い揺れにより、家具（タンス、本棚、食器棚、戸棚）や家電（冷蔵庫、電子レンジ、テレビ）などの転倒に巻き込まれ、死傷する場合があります。耐震金具などにより家具や家電などを固定することや、配置の見直しをするなど室内の安全対策が大変重要となります。

問 19 大規模災害が発生した時は、県外からの応援が届くまでに時間がかかるため、各ご家庭でも飲料水・食料（3日分以上※¹）の備蓄をすることが重要です。

あなたのご自宅に、災害用の備えとして、長期保存の飲料水と食料、日常的に消費する飲料水と食料のストック（ローリングストック※²）がおおよそ何日分ありますか。

(それぞれあてはまるものに○印)

【飲料水 災害用の飲料水の備蓄※³】

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	7日分以上	97	6.3
2	3日～6日分	507	33.0
3	2日分	298	19.4
4	1日分	144	9.4
5	なし	414	27.0
	無回答	76	4.9

【飲料水 日常的に消費する飲料水のストック】

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	7日分以上	129	8.4
2	3日～6日分	485	31.6
3	2日分	331	21.5
4	1日分	179	11.7
5	なし	344	22.4
	無回答	68	4.4

【食料 災害用の食料の備蓄※³】

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	7日分以上	72	4.7
2	3日～6日分	452	29.4
3	2日分	321	20.9
4	1日分	179	11.7
5	なし	438	28.5
	無回答	74	4.8

【食料 日常的に消費する食料のストック】

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	7日分以上	113	7.4
2	3日～6日分	542	35.3
3	2日分	379	24.7
4	1日分	161	10.5
5	なし	267	17.4
	無回答	74	4.8

- ※1 県外からの救援物資が届くのは南海トラフ地震発生後、4日目以降になると想定されます。そのため、3日分以上（可能であれば1週間分以上）の備蓄をしておくことが重要です。
- ※2 普段の食料を少し多めに買い置きし、賞味期限が近いものから消費、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品を家庭に備蓄しておく方法です。
- ※3 災害用の飲料水・食料は、5年保存水、7年保存水などの長期保存水や、乾パン、アルファ化米などの非常用保存食品をいいます。また、飲料水は、1人1日3リットル必要と言われています。

副問1 (問19で回答した量が、飲料水・食料それぞれ合計しても3日分に満たない方のみお答えください。合計で3日以上を確認できている項目は回答不要です。)

飲料水、食料を3日以上確保していない（できていない）のはどのような理由からですか。（それぞれ、最も大きな理由に一つだけ○印）

【飲料水】

(回答者数 439 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	必要性を感じていない	36	8.2
2	手間がかかる	34	7.7
3	費用がかかる	79	18.0
4	置き場所がない	72	16.4
5	まとまった量を購入する習慣がない	168	38.3
6	その他	32	7.3
	無回答	18	4.1

【食料】

(回答者数 437 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	必要性を感じていない	39	8.9
2	手間がかかる	34	7.8
3	費用がかかる	101	23.1
4	置き場所がない	64	14.6
5	まとまった量を購入する習慣がない	147	33.6
6	その他	28	6.4
	無回答	24	5.5

問20 大規模災害が発生すると、人命救助を行う緊急車両への給油が優先されるため、一般の車両はしばらくの間、ガソリンスタンドで給油を受けられなくなります。

したがって、災害が発生したときに車を使用するためには、平時からこまめに給油し、車の燃料を多めに保つことが必要です。

あなたは、普段、車への給油をいつ、どのくらい行いますか。(それぞれ1つだけ○印)

【いつ】

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	残量が半分くらいになった時	520	33.9
2	残量が4分の1程度になった時	555	36.1
3	残量がほとんど無くなった時	314	20.4
4	給油する機会はない	121	7.9
	無回答	26	1.7

【どのくらい】

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	満タンにする	1,172	76.3
2	満タンにせず、一定の量を入れる	64	4.2
3	満タンにせず、一定の金額分を入れる	150	9.8
4	給油する機会はない	121	7.9
	無回答	29	1.9

※ 電気自動車を使用している場合など、ガソリン車やディーゼル車を所有しておらず、ガソリンスタンドで給油する機会がない方は、選択肢4を選んでください。

問21 過去1年間に地域や職場の地震に関する防災訓練に参加したことがありますか。

(1つだけ○印)

※ 複数の訓練に参加したことがある場合は、直近で参加した該当する訓練に○印

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	行政や自主防災組織などが行う訓練に参加した	229	14.9
2	職場で行う訓練に参加した	451	29.4
3	その他の訓練(学校などで児童・生徒やその家族を対象にした訓練など)に参加した	63	4.1
4	参加していない	511	33.3
5	訓練がなかった、または訓練があったかなかったのかわからない	257	16.7
	無回答	25	1.6

問22 「南海トラフ地震臨時情報※」が発表されることについて知っていますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,536人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	知っている	752	49.0
2	聞いたことはあるが、内容はよく知らない	591	38.5
3	知らない	181	11.8
	無回答	12	0.8

※ 南海トラフ地震臨時情報：南海トラフ沿いで異常な現象（東海地震の発生など）が観測され、大規模地震発生の可能性が平常時より相対的に高まったと評価された場合に、気象庁から発表される情報

※ 実際の地震の発生を知らせる「緊急地震速報」とは異なります。

副問1 (問22で「1」を選んだ方のみお答えください。)

「南海トラフ地震臨時情報」には、地震発生後では避難が間に合わない地域に事前に避難指示等が発令される、切迫度の高い「巨大地震警戒」と、それよりは切迫度の低い「巨大地震注意」があります。

それぞれの情報に応じた、ご自身の取るべき下の図のような行動について、理解していますか。

【巨大地震警戒】

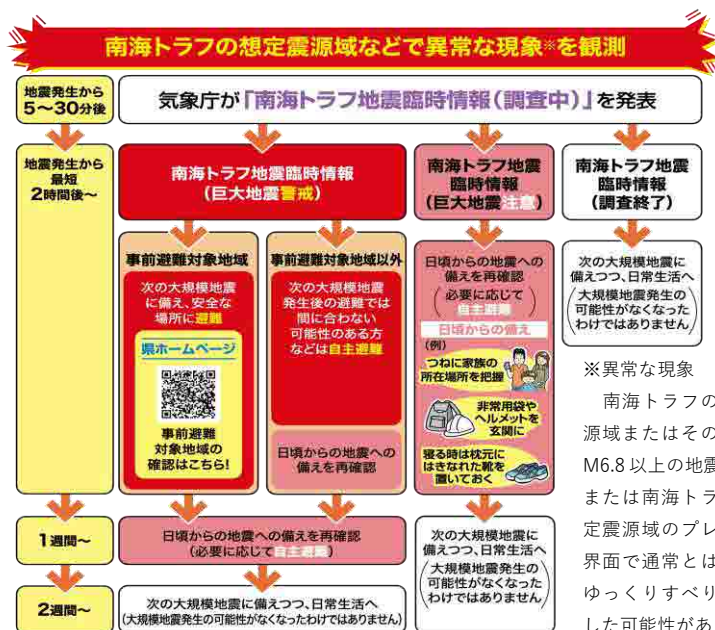
(回答者数 752人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	理解している	464	61.7
2	理解できていない	271	36.0
	無回答	17	2.3

【巨大地震注意】

(回答者数 752人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	理解している	485	64.5
2	理解できていない	220	29.3
	無回答	47	6.3



-
-
- 「巨大地震警戒」発表時に避難指示等が発令される「事前避難対象地域」は市町村によって設定されています。あらかじめ対象地域を確認しておくことが重要です。

- 高知県では、ご家庭での備えについてまとめた防災啓発冊子「南海トラフ地震に備えちょき」を作成し、ホームページで公開していますので、ぜひご活用ください。

【高知県ホームページ】



4. 県民の健康づくりについて

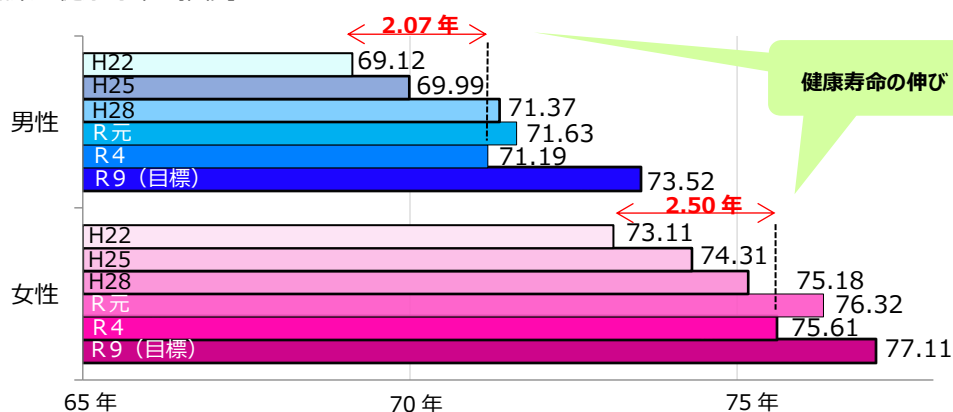
高知県では、平成 22 年 2 月に「日本一の健康長寿県構想」を、平成 25 年 11 月に「スポーツ推進計画」を策定し、保健・医療・福祉の各分野の課題解決や成人の運動・スポーツの習慣化に真正面から取り組んできました。

令和 6 年 3 月には、第 5 期「日本一の健康長寿県構想」を策定し、①働きざかり世代をターゲットにした対策の強化、②中山間地域を含めた医療・福祉・介護サービスの基盤強化、③出会いや結婚支援、子ども・子育て施策の充実・強化、④分野横断的な柱として、高知型地域共生社会の取り組みを推進をポイントとして対策の強化を図り、『県民の誰もが住み慣れた地域で、健やかで心豊かに安心して暮らし続けることのできる高知県』の実現に向けて全力で取り組みを進めています。

県民の健康づくりでは、県民の皆さまの健康寿命を全国平均以上にまで延伸することを目標に掲げ、男性の健康寿命を令和元年の 71.63 年から令和 9 年には 73.52 年以上に、また、女性は 76.32 年から 77.11 年以上にすることを目指しています。

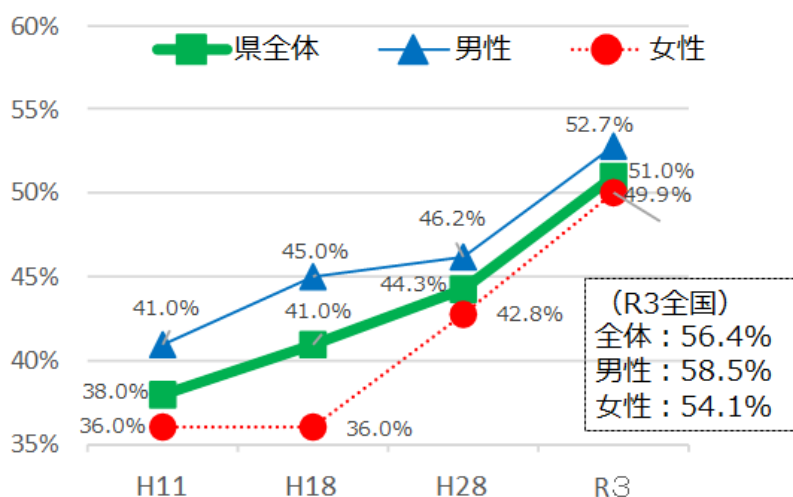
さらに、令和 5 年 3 月に策定した「第 3 期高知県スポーツ推進計画」では、県民のスポーツ参加の拡大を 3 本柱の 1 つに掲げ、令和 9 年度に成人の週 1 回以上のスポーツ実施率 65%を目指しています。

【高知県の健康寿命の推移】



※ 健康寿命とは・・・介護などを受けずに健康的に社会生活が送れる期間

【高知県の成人の週 1 回以上の運動・スポーツ実施率の推移】



問 23 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	ある	206	13.4
2	ない	1,317	85.7
	無回答	13	0.8

副問 1 (問 23 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

それはどのようなことに影響がありますか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 206 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	日常生活動作(起床、衣服脱着、食事、入浴など)	71	34.5
2	外出(時間や作業量などが制限される)	68	33.0
3	仕事、家事、学業(時間や作業量などが制限される)	94	45.6
4	運動(スポーツを含む)	86	41.7
5	その他	18	8.7
	無回答	3	1.5

問 24 高知県の1日の平均歩数は、男女ともに全国平均を下回っております。健康づくりのためには、成人で1日約8,000歩以上、高齢者で1日約6,000歩以上の歩行に相当する身体活動が推奨^{*1}されています。あなたは1日にどのくらい歩いていますか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	4,000 歩未満	494	32.2
2	4,000～6,000 歩未満	357	23.2
3	6,000～8,000 歩未満	211	13.7
4	8,000～10,000 歩未満	109	7.1
5	10,000 歩以上	76	4.9
6	把握していない	275	17.9
	無回答	14	0.9

歩数の目安：1,000 歩＝約 10 分

1 日平均歩数

年齢区分	性別	国目標値 ^{*2}	全国平均 ^{*3}	高知県 ^{*4}
20～64 歳	男性	8,000	7,506	6,210
	女性	8,000	6,494	5,960
65 歳以上	男性	6,000	5,329	4,894
	女性	6,000	4,419	4,229

*1 「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」推奨シート(厚生労働省)

*2 健康日本 21(第三次) *3 令和 5 年国民健康・栄養調査

*4 令和 4 年高知県県民健康・栄養調査

問 25 運動やスポーツを 1 週間に何日くらい行いますか。(1 つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	週に 5 日以上	139	9.0
2	週に 3 日以上	144	9.4
3	週に 2 日以上	130	8.5
4	週に 1 日以上	169	11.0
5	月に 1～2 日	151	9.8
6	運動やスポーツをほとんどしない	782	50.9
	無回答	21	1.4

※「運動やスポーツ」の例

競技スポーツ（野球、サッカー、ランニング、水泳など）のほか、健康づくりのために
行う運動（散歩を含むウォーキング、ラジオ体操、ヨガ、縄跳びなど）

5. 高知型地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくりについて

人口減少や少子高齢化に加え、核家族や単身世帯の増加、デジタル化の進展などにより人との接触機会が減ってきたことで、地域のつながりや支え合いの力が弱まっています。

こうした課題への対応として、高知県では、「高知型地域共生社会」の取り組みを進めています。

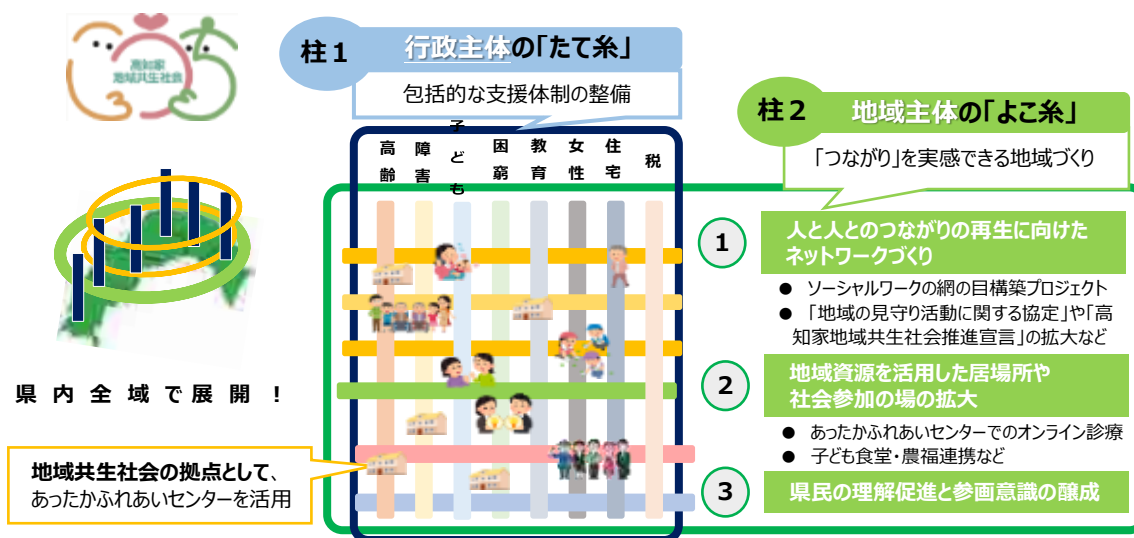
具体的には、行政主体の「たて糸」として、行政がどんな困りごとでも受け止め、関係者が連携して解決に導く体制づくりを進めます。

さらに、地域主体の「よこ糸」として、県内に広く展開する「あったかふれあいセンター」を拠点にしながら人々とのつながりや支え合いの力の再生に向けた取り組みを進めます。

特に「よこ糸」では、地域の見守り活動や清掃活動、お祭りなど、地域の集いの場があることが、困りごとを見逃さない支え合いの地域づくりにつながります。日々のあいさつや声かけなどの小さな行動もその大切な一歩です。

県民のみなさんと一緒にオール高知で「高知型地域共生社会」の実現に向けた支え合いの地域づくりを進めたいと考えています。

【高知型地域共生社会の「たて糸」「よこ糸」の展開イメージ】



「高知型地域共生社会」の実現に向けて、ご意見を今後の施策に反映するため、「よこ糸」である支え合いの地域づくりに関してお伺いします。

問 26 地域での支え合いの力は、以前（概ね5～10年前）と比べてどうなっていると感じますか。（1つだけ○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	強まっていると感じる	83	5.4
2	あまり以前と変わらない	632	41.1
3	弱まっていると感じる	640	41.7
	無回答	181	11.8

問 27 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	決してない	295	19.2
2	ほとんどない	699	45.5
3	たまにある	310	20.2
4	時々ある	142	9.2
5	しばしばある・常にある	80	5.2
	無回答	10	0.7

問 28 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	積極的に参加している	92	6.0
2	積極的ということではないが参加している	341	22.2
3	頼まれたら時々参加している	308	20.1
4	ほとんど参加したことがない	341	22.2
5	全く参加していない	445	29.0
	無回答	9	0.6

※「地域の活動」の例

清掃活動、自治会、お祭りなどの地域のイベント、サロンなどの交流活動など

副問 1 (問 28 で「4」「5」を選んだ方のみお答えください。)

どのようなきっかけがあれば、地域の活動に参加したいと思いますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 786 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	興味・関心のある活動があれば	278	35.4
2	友人や仲間からの誘いがあれば	211	26.8
3	広報誌やホームページ・SNS等からの情報提供があれば	41	5.2
4	活動団体からの呼びかけがあれば	53	6.7
5	自治体、町内会の誘いがあれば	111	14.1
6	報酬等がもらえるのであれば	104	13.2
7	その他	51	6.5
8	特に参加しようと思わない	257	32.7
	無回答	5	0.6

6. ヤングケアラーについて

ヤングケアラーとは、「家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者※」とされています。

※「子ども・若者」：子ども・若者育成支援推進法の支援の対象年齢は、おおむね30歳未満を中心としているが、状況等に応じ、40歳未満の方も対象となり得る。

例えば、このような子ども・若者をいいます。



障害や病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている。



家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている。



障害や病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている。



目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている。



日本語が第一言語でない家族や障害のある家族のために通訳をしている。



家計を支えるために労働をして、障害や病気のある家族を助けている。



アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している。



がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている。



障害や病気のある家族の身の回りの世話をしている。



障害や病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている。

ヤングケアラーの子ども・若者は、家族の介護や世話、家事が過度な負担となって、学業、健康や将来の進路、就職などに影響が出てしまうことがあります。また、当事者からは声を上げにくく、中には、他人に知られたくないと思っている場合もあるなど、課題が表面化しづらい問題です。このため、周囲の大人が子ども・若者の置かれている状況に気づき必要な支援につなぐことが大切です。

県では、ヤングケアラーを早期に発見・把握し、適切な支援につなげることができるよう、周知啓発や関係機関の連携強化に取り組んでいます。

問 29 「ヤングケアラー」という言葉をこれまでに聞いたことがありましたか。

(1つだけ○印)

(回答者数 1,536人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	聞いたことがあり、内容も知っている	928	60.4
2	聞いたことはあるが、よく知らない	333	21.7
3	聞いたことがない	262	17.1
	無回答	13	0.8

副問 1 (問 29 で「1」または「2」を選んだ方のみお答えください。)
「ヤングケアラー」という言葉を聞いたきっかけは何ですか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,261 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	インターネット(各機関のホームページ、ニュースサイトなど)	468	37.1
2	SNS (X (旧 Twitter)、LINE、Instagram、YouTube など)	197	15.6
3	テレビ	967	76.7
4	ラジオ	67	5.3
5	新聞	324	25.7
6	県や市町村発行の広報誌 (さん SUN 高知など)	113	9.0
7	ポスター・チラシ・リーフレット	131	10.4
8	学校などでの授業・講義	65	5.2
9	自治体や職場などが主催する研修会・説明会	54	4.3
10	セミナー・シンポジウム・フォーラム	25	2.0
11	関係機関の人から (学校・医療・福祉など)	98	7.8
12	家族や友人、知人から	56	4.4
13	その他	19	1.5
	無回答	9	0.7

問 30 「ヤングケアラー」と思われる子ども・若者が身近 (家族・親戚、地域など) にいますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	いる	62	4.0
2	いない	905	58.9
3	わからない	531	34.6
	無回答	38	2.5

副問 1 (問 30 で「1」を選んだ方のみお答えください。)
その子ども・若者をどこで知りましたか。(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 62 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	家族、親戚にいる	17	27.4
2	自身の活動 (ボランティア活動、町内会、民生委員等) の中で知った	4	6.5
3	自分の仕事や所属 (学校、職場等) の中で知った	29	46.8
4	近隣住民であり、関わりを持つ中で知った	3	4.8
5	友人・知人関係等のつながりの中で知った	15	24.2
6	その他	3	4.8
	無回答	0	0.0

問 31 身近に「ヤングケアラー」と思われる子ども・若者がいた場合、どこに相談しますか。
(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	家族、知人、友人	585	38.1
2	市町村役場	642	41.8
3	県の子どもや福祉、保健に関する機関（児童相談所、福祉保健所など）	546	35.5
4	学校や教育委員会	245	16.0
5	病院や介護事業所などの医療・介護関係機関	80	5.2
6	民生委員・児童委員	238	15.5
7	社会福祉協議会や NPO などの団体	154	10.0
8	どこにも相談しない	198	12.9
9	その他	16	1.0
	無回答	50	3.3

副問 1 (問 31 で「8」を選んだ方のみお答えください。)

その理由としてもっともあてはまるものをお答えください。

(最も当てはまるもの 1 つだけ○印)

(回答者数 198 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	どこに相談すればよいかわからないため	69	34.8
2	どのように相談したらよいかわからないため	32	16.2
3	家族の問題に関わることに抵抗感があるため	73	36.9
4	家族が家族の世話をすることは当たり前であるため	3	1.5
5	相談する余裕がないため	8	4.0
6	その他	11	5.6
	無回答	2	1.0

●「ヤングケアラー」ではないかと思われる気になる子ども・若者に気づいた時は、下記の窓口までご相談ください。

■市町村役場（児童家庭相談担当）：月～金曜日・9 時～17 時（祝日、年末年始を除く）

電話番号：お住まいの市町村役場

■24 時間子ども SOS ダイヤル：24 時間・365 日受付

電話番号：0120-0-78310（なやみいおう）

■児童相談所 相談専用ダイヤル：24 時間・365 日受付

電話番号：0120-189-783（いちはやくおなやみを）

■心の教育センター 相談窓口：月～金曜日、土曜日（第 1・第 3）、日曜日

9 時～17 時（祝日、年末年始、第 5 日曜日を除く）

相談予約電話番号：088-821-9909

■親子のための相談 LINE：（返信期間）月～金曜日・9 時～17 時（祝日、年末年始を除く）



7. 文化芸術の振興について

県では、「高知県文化芸術振興ビジョン」の基本理念である”文化芸術の力で心豊かに暮らせる高知県”の実現に向けて、県民一人ひとりが文化芸術を身近に感じることが出来る環境づくりなど、さまざまな文化芸術振興施策に取り組んでいます。

令和9年度には、高知県文化芸術振興ビジョンの改定を予定しており、文化芸術分野の現状や課題、施策について議論を重ね、県の文化芸術振興に繋がる具体的な支援策などを盛り込みたいと考えています。

問 32 この1年間で取り組んだ又は鑑賞した文化芸術活動と、今後の予定についてお聞きします。 (回答者数 1,536人)

<div>  <p>下の1～11の各項目について、右の設問欄の①～⑤の中から、当てはまるものすべてに○印をお願いします。</p> </div>		問 32					
		①現在取り組んでいる	②今後新たに組みたいと思っている	③現在、鑑賞している	④今後新たに鑑賞したいと思っている	⑤今後もし組みたい鑑賞する予定はない	無回答
1 音楽（オペラ、オーケストラ、合唱、吹奏楽、ジャズ、ポップスなど）	回答数(人)	82	37	343	354	569	187
	回答比率(%)	5.3	2.4	22.3	23.0	37.0	12.2
2 美術（絵画、版画、彫刻、工芸、陶芸、写真など）	回答数(人)	55	60	220	409	625	201
	回答比率(%)	3.6	3.9	14.3	26.6	40.7	13.1
3 演劇（現代演劇、人形劇、ミュージカルなど）	回答数(人)	9	23	103	405	770	237
	回答比率(%)	0.6	1.5	6.7	26.4	50.1	15.4
4 舞踊（日本舞踊、バレエ、モダンダンスなど）	回答数(人)	19	17	57	203	1007	242
	回答比率(%)	1.2	1.1	3.7	13.2	65.6	15.8
5 文学（小説、詩、短歌、俳句など）	回答数(人)	50	30	259	230	758	232
	回答比率(%)	3.3	2.0	16.9	15.0	49.3	15.1
6 メディア芸術（まんが、アニメーション、映画など）	回答数(人)	89	35	593	289	371	189
	回答比率(%)	5.8	2.3	38.6	18.8	24.2	12.3
7 生活文化（茶道、華道、書道、囲碁、将棋など）	回答数(人)	49	77	75	256	852	247
	回答比率(%)	3.2	5.0	4.9	16.7	55.5	16.1
8 伝統芸能（能楽、歌舞伎、箏曲など）	回答数(人)	7	14	54	291	930	248
	回答比率(%)	0.5	0.9	3.5	18.9	60.5	16.1
9 歴史・文化財（建造物、史跡、名勝など）	回答数(人)	33	42	217	412	619	231
	回答比率(%)	2.1	2.7	14.1	26.8	40.3	15.0
10 芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）	回答数(人)	13	16	188	385	696	249
	回答比率(%)	0.8	1.0	12.2	25.1	45.3	16.2
11 その他、上記以外にあればご記入ください	回答数(人)	14	6	8	5	1	0
	回答比率(%)	48.3	20.7	27.6	17.2	3.4	0.0

問 33 今後、国内外に発信していきたい本県の文化芸術は何だと思いますか。

(2つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	よさこい祭り	942	61.3
2	まんが文化	300	19.5
3	お遍路文化	370	24.1
4	歴史遺産(高知城等)	194	12.6
5	伝統芸能(神楽等)	88	5.7
6	食文化(皿鉢料理、おきやく等)	738	48.0
7	その他	13	0.8
8	特にない	91	5.9
	無回答	16	1.0

問 34 文化芸術の振興により、社会にもたらされる効果として期待することは何ですか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	地域社会・経済の活性化	963	62.7
2	観光客や移住者の増加	820	53.4
3	障害者や高齢者の活躍の場の創出	237	15.4
4	地域のイメージの向上	493	32.1
5	地域に対する愛着や誇りの醸成	496	32.3
6	人々の創造性の向上	274	17.8
7	人々が生きる楽しみを見出せる	635	41.3
8	子どもの心豊かな成長	507	33.0
9	健康の増進(脳の活性化など)	272	17.7
10	国際交流の促進	267	17.4
11	その他	5	0.3
12	特にない	34	2.2
13	わからない	57	3.7
	無回答	22	1.4

国内最大級の文化の祭典「よさこい高知文化祭 2026」を開催します！

会期：令和8年10月25日(日)～12月6日(日) 43日間



**よさこい高知
文化祭2026**

よさこい高知文化祭2026とは、第41回国民文化祭と第26回全国障害者芸術・文化祭の統一名称です。各種の文化活動を全国規模で発表・共演・交流する祭典であり、令和8年に高知県で初めて開催します。

高知県には、豊かな海・山・川の幸に恵まれた食文化、土佐和紙や土佐打刃物といった伝統工芸、今では海外にも広がりを見せているよさこい祭りやまんが文化など、特色ある多彩な文化芸術が数多くあります。

大会を通じて、これらの文化芸術の魅力を発信するとともに、価値を再認識する契機とし、本県の文化芸術の発展につなげていきます。

8. 外国人との共生に関する意識調査について

県内在住の外国人は年々増加傾向にあり、令和6年12月時点で6,848人となっています。

一方で、本県は全国に先行して人口減少が加速しており、産業分野において人手不足が深刻化しています。今後の地域社会や産業を支えるために、外国人の力は不可欠な存在となっています。

こうした状況を踏まえ、県では、「日本国籍の県民も外国籍の県民も、互いに分かり合える地域づくり」「国籍を問わず、誰もが安心して暮らせる地域づくり」「国籍を問わず、誰もが地域の一員として活躍できる地域づくり」の実現に向けて、市町村や企業、県民の皆さまと連携しながら「多文化共生」の取組を進めていく方針です。

問 35 「多文化共生」という言葉を知っていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,536人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	意味も含めて知っている	539	35.1
2	聞いたことはあるが意味は知らない	573	37.3
3	全く知らない	404	26.3
	無回答	20	1.3

問 36 県内に住む外国人が年々増加していることについて、あなたはどのように感じていますか。(1つだけ○印)

(回答者数 1,536人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	好ましい	204	13.3
2	どちらかといえば好ましい	445	29.0
3	どちらかといえば好ましくない	257	16.7
4	好ましくない	111	7.2
5	どちらともいえない	501	32.6
	無回答	18	1.2

問 37 外国人が身近に増えることについてどのような変化があると思いますか。

(当てはまるものすべてに○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	人手不足の解消につながると思う	906	59.0
2	外国の言葉や文化等を知る機会が増えると思う	584	38.0
3	社会に多様性が生まれると思う	556	36.2
4	地域の活性化につながると思う	368	24.0
5	地域で他の国籍の人たちと交流できる機会が増えると思う	399	26.0
6	言葉や文化の違いによるトラブルが心配だと感じる	742	48.3
7	日本人の雇用機会が減少するのではないかと不安に感じる	234	15.2
8	外国人向けサービス(多言語対応等)や教育など、社会的負担が増えると思う	225	14.6
9	緊急時や災害時における地域活動でトラブルが起きないか不安に感じる	413	26.9
10	地域で暮らす外国人が増えることに漠然とした不安を感じる	372	24.2
11	その他	51	3.3
	無回答	17	1.1

9. 食品ロス削減について

日本では、食料を海外からの輸入に大きく依存している一方で、まだ食べられるのに廃棄される食品（食品ロス）の発生量は年間 472 万トン（令和 4 年度推計）にも及んでおり、これを国民一人当たりで換算すると、毎日おにぎり 1 個分（約 103 g）の食べ物が捨てられていることになります。この推計値を基に経済損失を推計すると、国民一人当たり年間 32,125 円、毎日 88 円を失っている計算になります。

地球の大切な資源を有効に使っていくとともに、環境に与える影響を軽減させていくためにも、皆が「もったいない」という意識を持ち、食品ロスを減らしていく取組が欠かせません。

政府は、「第 2 次食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」（令和 7 年 3 月 25 日閣議決定）を策定して、その削減に取り組んでおり、本県でも、同基本方針に基づいて「高知県食品ロス削減推進計画」を策定し、県内の食品ロスの削減に取り組んでいます。

問 38 「食品ロス」が問題となっていることを知っていますか。（1 つだけ○印）

（回答者数 1,536 人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	よく知っている	717	46.7
2	ある程度知っている	718	46.7
3	あまり知らない	74	4.8
4	まったく知らない	15	1.0
	無回答	12	0.8



みんなで減らそう食品ロス!

～10月は食品ロス削減月間・10月30日は食品ロス削減の日～

1 食品ロスとは?

◆食品ロスとは、「本来食べられるにもかかわらず捨てられている食品」のこと。

◆日本では、食品ロスが**472万トン発生**！
これは、国民一人当たりで換算すると、年間38kg、**毎日おにぎり1個分**の食べ物を捨てている計算になります。
（※1 農林水産省と環境省の令和4年度推計値）

◆高知県内の食品ロス発生量は年間**2万8千トン**。なんとその**7割以上が家庭から発生**しています！
（※2 高知県の令和4年度推計値）

2 食品ロスは何が問題?

日本の**食料自給率は、38%**（令和4年度）と、大量の食糧を輸入する一方で、**大量の食品ロス**を発生させています。

食品の生産や廃棄に関わる資源やエネルギーがムダになるだけでなく、焼却処理時等に**地球温暖化の原因となるCO₂**が排出されるなど、環境問題と密接に関係しています。

食品ロスを含む一般廃棄物の処理経費は**約2.2兆円/年**（国民一人当たり17,000円/年）

3 すぐにできる食品ロス削減のコツ

家庭で食品ロスを減らすコツ

買い物をする時は「**買いすぎない**」。
料理の際は「**作りすぎない**」。
食事の際は「**おいしく食べきる**」。

期限表示を正しく理解!

消費期限は「**安全に食べられる期限**」
賞味期限は「**おいしく食べられる期限**」
ただし、一度開封したら、期限にかかわらず早めに食べきりましょう!

すぐに食べる場合は、「てまえどり」

買ってすぐに食べる場合は、**商品横の手前**にある商品など、販売期限の迫った商品を積極的に選ぶ「**てまえどり**」を実践してみましょう!

高知県 文化生活部 県民生活課 TEL:088-823-9653

問 39 食品ロス削減について、あなたの取組状況を教えてください。

(回答者数 1,536 人)



下の 1～13 の各項目について、右の設問欄の①～③の中から、あてはまる 1 つに○印をお願いします。

問 39

		① 既に取組んでいる	② 現在取組めていないが、今後は取組みたい	③ 取組むつもりはない	無回答
1 料理を作り過ぎない	回答数(人)	1,123	306	41	66
	回答比率(%)	73.1	19.9	2.7	4.3
2 残さずに食べる	回答数(人)	1,328	149	20	39
	回答比率(%)	86.5	9.7	1.3	2.5
3 残った料理を別の料理に作り替える(リメイクする)	回答数(人)	769	523	162	82
	回答比率(%)	50.1	34.0	10.5	5.3
4 冷凍保存を活用する	回答数(人)	1,269	172	41	54
	回答比率(%)	82.6	11.2	2.7	3.5
5 日頃から冷蔵庫等の食材の種類・量・期限表示(消費期限・賞味期限)を確認する	回答数(人)	1,135	303	36	62
	回答比率(%)	73.9	19.7	2.3	4.0
6 「賞味期限」を過ぎてもすぐに捨てるのではなく、自分で食べられるか判断する	回答数(人)	1,291	140	52	53
	回答比率(%)	84.0	9.1	3.4	3.5
7 小分け商品、少量パック商品、バラ売り等食べきれぬ量を購入する	回答数(人)	1,098	254	111	73
	回答比率(%)	71.5	16.5	7.2	4.8
8 商品棚の手前に並ぶ賞味期限の近い商品を購入する	回答数(人)	649	517	291	79
	回答比率(%)	42.3	33.7	18.9	5.1
9 消費期限や賞味期限間近による値引き商品やポイント還元の商品を率先して選ぶ	回答数(人)	1,106	252	104	74
	回答比率(%)	72.0	16.4	6.8	4.8
10 飲食店等で注文し過ぎない	回答数(人)	1,245	180	34	77
	回答比率(%)	81.1	11.7	2.2	5.0
11 外食時には、小盛りメニュー等希望に沿った量で料理を提供する店舗を選ぶ	回答数(人)	562	549	328	97
	回答比率(%)	36.6	35.7	21.4	6.3
12 食べない食品や利用しない食材等をフードバンクや子ども食堂等に寄附をする	回答数(人)	123	905	414	94
	回答比率(%)	8.0	58.9	27.0	6.1
13 その他、上記以外にあればご記入ください	回答数(人)	33	10	0	3
	回答比率(%)	71.7	21.7	0.0	6.5

10. グリーン化（地球温暖化対策）、環境について

県では、「令和 32 年（2050 年）カーボンニュートラル※の実現」と「経済と環境の好循環」の創出に向けた行動計画である「第Ⅱ期高知県脱炭素社会推進アクションプラン（以下、アクションプラン）」に基づき、「令和 12 年度（2030 年度）に平成 25 年度（2013 年度）比で 47%以上温室効果ガスを削減すること」を目標に、県民運動として取り組んでいます。

＜ 温室効果ガス削減目標



2030 年度の削減目標

2013 年度比で「47%以上削減」

本県の強みである豊富な自然資源を生かし、「2050 年カーボンニュートラルの実現」と「経済と環境の好循環の創出」を目指す。

- 日本一の森林県
- 日本トップクラスの降水量

森林率
全国 1 位
84%

※ カーボンニュートラルとは・・・二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量から、森林などによる吸収量を差し引いて、実質的な温室効果ガス排出量をゼロとすること。

問 40 高知県が地球温暖化防止対策として様々な取組を進めていることを知っていますか。
(1 つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率 (%)
1	知っている	257	16.7
2	少し知っている	609	39.6
3	全く知らない	465	30.3
	無回答	205	13.3

脱炭素に関する県の主な取組内容

◇レジ袋削減を進める取り組み

(環境に優しい買物キャンペーン)

◇クールビズ、ウォームビズの推進

◇太陽光発電設備導入支援

◇あっち CO₂ こうちデジタル de スタンプラリー

◇脱炭素スタートサイト「こっから。」

◇環境パスポート

◇地球温暖化防止に向けた普及啓発素材の作成

(高知家ゼロカーボン・アクション BOOK) など

◇省エネ住宅リフォーム支援

◇公用車の電動化、庁舎等の LED 化、太陽光発電設備の導入

各種パンフレット



身近な脱炭素
アクションなど
を取りまとめて
います



クイズ・トークイベント



R5 年度の
イベントの
動画を視聴
できます



高知県 環境パスポート



ご登録いただくと、
様々なキャン
ペーンにご参
加できます



楽しく取り
組めるよ。

こっから 脱炭素スタートサイト



様々な脱炭
素に関する
情報をご覧
できます



問 41 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。

(回答者数 1,536 人)



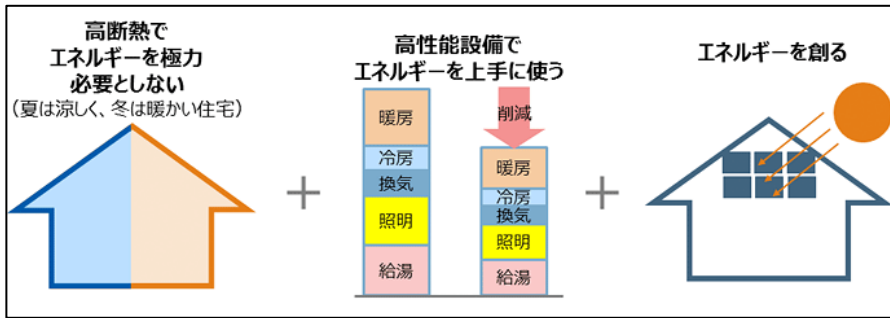
下の 1～12 の各項目について、右の設問欄の①～③の中から、あてはまる 1 つに○印をお願いします。

		問 41			
		①既に取 り組んで いる	②現在取 り組めて い ない が、今後 取り組む	③取り組 む予定が ない	無回答
1 エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしている、体調や気温に応じて利用時間をできるだけ短くする	回答数(人)	627	488	359	62
	回答比率(%)	40.8	31.8	23.4	4.0
2 電気の使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど）	回答数(人)	934	424	113	65
	回答比率(%)	60.8	27.6	7.4	4.2
3 エコバッグでの買い物を心がける	回答数(人)	1,218	167	97	54
	回答比率(%)	79.3	10.9	6.3	3.5
4 普段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	回答数(人)	413	438	608	77
	回答比率(%)	26.9	28.5	39.6	5.0
5 家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	回答数(人)	1,047	355	69	65
	回答比率(%)	68.2	23.1	4.5	4.2
6 日頃からマイボトルを活用する	回答数(人)	923	330	213	70
	回答比率(%)	60.1	21.5	13.9	4.6
7 従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	回答数(人)	640	373	445	78
	回答比率(%)	41.7	24.3	29.0	5.1
8 太陽光発電システムを設置する	回答数(人)	217	250	974	95
	回答比率(%)	14.1	16.3	63.4	6.2
9 低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車※ ¹ ）を使用している	回答数(人)	399	384	667	86
	回答比率(%)	26.0	25.0	43.4	5.6
10 自宅を省エネ住宅（ZEH※ ² など）にする（リフォームを含む）ことを考えている	回答数(人)	151	241	1,054	90
	回答比率(%)	9.8	15.7	68.6	5.9
11 積極的に環境に優しい製品やサービス等を選択する	回答数(人)	440	747	255	94
	回答比率(%)	28.6	48.6	16.6	6.1
12 その他、上記以外にあればご記入ください	回答数(人)	6	4	0	1
	回答比率(%)	54.5	36.4	0.0	9.1

※ 1 水素と酸素の化学反応で発電し、走行時に二酸化炭素を排出しない自動車のこと。

※ 2 1年間の消費エネルギーより住宅でつくったエネルギー（太陽光発電など）のほうが多い、または差がゼロになる住宅のこと。

(ZEHのイメージ図)



出典：経済産業省
資源エネルギー庁
省エネポータルサイト

令和3年4月に、これからの高知県の環境の保全と創造に関する総合的な計画として、地球温暖化対策が進んだ脱炭素社会、環境への負荷の少ない循環型社会、自然環境の保全が図られた自然共生社会を目指し、「高知県環境基本計画第五次計画」を策定しました。

本計画は「84の森・柚子の里・アユ踊る清流、そして、ウミガメが訪れる海～次世代につなごう!高知家の営み～」というサブタイトルのもと、環境保全を前提としたうえで、地域の自然資源を積極的に活用し、農業、林業、観光業などの産業の振興に取り組んでいます。

問 42 あなたは、現在、主にどのような環境問題に関心がありますか。（3つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	ごみのポイ捨てや不法投棄	598	38.9
2	ごみの処理やリサイクル	528	34.4
3	海洋ごみなどによる生物への影響や環境汚染	546	35.5
4	家庭や工場からの排水などによる川や海の水質汚濁	303	19.7
5	PM2.5などの大気汚染	312	20.3
6	農薬など化学物質による環境汚染	201	13.1
7	自動車、鉄道、工場などによる騒音・振動	49	3.2
8	二酸化炭素など温室効果ガスによる地球温暖化	533	34.7
9	過疎地を中心とした森林、農地の持つ環境保全能力の低下	299	19.5
10	生物多様性の確保や外来種対策、貴重な動植物の保護	184	12.0
11	地域開発などによる身近な自然（緑や動植物）の減少	174	11.3
12	多様な自然とのふれあいの確保	124	8.1
13	その他	15	1.0
14	特になし	65	4.2
	無回答	24	1.6

問 43 あなたは、県の環境をよりよくするために、今後行政がどのような分野に取り組む必要があると思いますか。（3つまで○印）

（回答者数 1,536人）

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	ごみのポイ捨てや不法投棄の防止などの環境美化対策	573	37.3
2	プラスチックや食品などの廃棄物の発生抑制や再利用、リサイクルなどの循環利用対策	536	34.9
3	資源の再利用、リサイクルのための施設の整備や産業育成	512	33.3
4	大気汚染や水質汚濁などの防止対策、有害化学物質対策	349	22.7
5	地球温暖化対策やエネルギー対策の推進・再生可能エネルギー等の導入促進	469	30.5
6	生物多様性の確保や外来種対策、貴重な動植物の保護	159	10.4
7	間伐などの森林整備や森林環境の保全	407	26.5
8	公共交通の利用促進	233	15.2
9	公共工事を実施する際の環境への配慮の促進	89	5.8
10	身近な自然の保全や復元、ふれあい空間の創造	120	7.8
11	歴史的な町並みや景観の保全	126	8.2
12	まちづくりや農業など、他分野での環境保全の視点の導入	172	11.2
13	環境にやさしいライフスタイルに変革するための教育や普及啓発への取り組み	141	9.2
14	環境を保全するためのビジネスへの支援	109	7.1
15	その他	23	1.5
	無回答	28	1.8

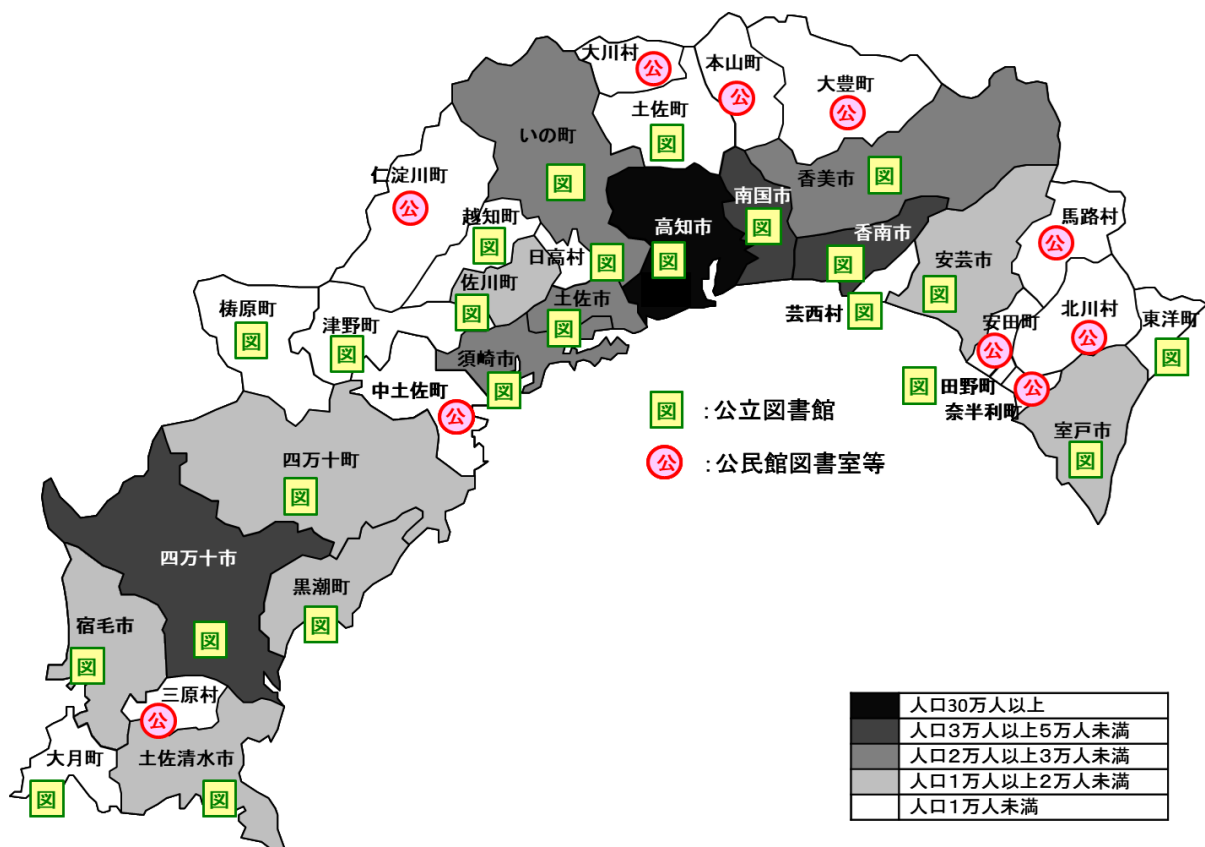
11. 図書館の利用状況について

図書館には、読書の楽しみに加えて、仕事や暮らしに必要な資料・情報を提供する「地域を支える情報拠点」としての役割があります。人口減少に直面する本県では、地域や個人が抱える様々な課題を解決するため、必要な情報にいつでもアクセスできる環境の整備がますます重要になります。

高知県には、24 の市町村に公立図書館があります。また、公立図書館がない町村では公民館図書室等が図書館の機能を担っています。自治体により図書館の整備状況は異なりますが、どこにお住まいの方も必要な情報が得られるよう、県立図書館が各市町村の状況に応じた支援を行っています。

これからの高知を生きる皆さまを支える図書館サービスを実現するため、公立図書館や公民館図書室等に求めることについてお伺いします。

県内の公立図書館、公民館図書室等



問 44 この１年間で公立図書館・図書室をどの程度の頻度で利用しましたか。

(１つだけ○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	週３回以上	12	0.8
2	週に１～２回	38	2.5
3	月に２～３回	109	7.1
4	月に１回程度	109	7.1
5	２～３か月に１回程度	132	8.6
6	年に１～２回程度	273	17.8
7	利用したことがない	844	54.9
	無回答	19	1.2

副問１ (問 44 で「６」、「７」を選んだ方のみお答えください。)

公立図書館・図書室をほとんど利用しない又は利用したことがない理由は何ですか。

(３つまで○印)

(回答者数 1,117 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	場所がどこにあるのかわからない	42	3.8
2	自宅や勤務地から遠い	186	16.7
3	交通手段がない、少ない	26	2.3
4	開館時間に行くことが難しい	249	22.3
5	利用方法がわからない	59	5.3
6	自分が必要とする本が置かれていない	85	7.6
7	必要な本は買うため、行く必要がない	399	35.7
8	本を読んだり、本で調べたりする習慣がない	315	28.2
9	インターネットで必要な情報やコンテンツが得られるため、行く必要がない	497	44.5
10	活字が読みづらい	76	6.8
11	本や情報を探すためのサポートが受けられない	15	1.3
12	魅力的なイベントがない、少ない (おはなし会、セミナー、講演会など)	77	6.9
13	その他	97	8.7
	無回答	8	0.7

問 45 公立図書館・図書室にどのようなサービスが充実してほしいと思いますか
(3つまで○印)

(回答者数 1,536 人)

	項 目	回答数(人)	回答比率(%)
1	豊富な本や雑誌	687	44.7
2	スマートフォンやパソコンで読むことができる豊富な電子書籍	335	21.8
3	インターネット端末	141	9.2
4	無線 LAN (Wi-Fi)	366	23.8
5	データベース (図書館内の端末で新聞記事、文献、法令、判例などを検索・閲覧できるサービス)	282	18.4
6	本の検索や予約ができるインターネット・サービスやアプリ	261	17.0
7	職員による本や情報検索のサポート	112	7.3
8	障害などの理由で図書館・図書室に行くことができない方を対象にした無料の図書の宅配	174	11.3
9	読みづらさを感じる方のための大活字本や録音図書 (録音図書：本などを耳で聴けるように CD などに録音したもの)	155	10.1
10	勉強や仕事ができるスペース	495	32.2
11	地域住民の交流の機会	179	11.7
12	その他	100	6.5
	無回答	94	6.1

使ってみませんか？



いつでも・どこでもインターネットで1万冊以上の本が読める！

電子書籍

読書や調べものに
役立ちます！

無 料

※ 通信にかかる費用は利用者負担

オーテピア高知図書館の
共通利用カード の登録をしている
個人の方を対象としたサービスです

電子書籍
サービスの
詳細はこちら

